

大坂山(573m)/薬師の頭(546m)

2016.08.31(水) 晴れ

大坂山登山口～テーブル～大坂山登山口分岐～大坂山(573m)～薬師の頭(546m)～愛宕山分岐～大坂山(573m)～境界降口～境界出口～大坂山登山口



県道204号の7番カーブが大坂山登山口で傍の路肩に数台駐車可能。案内板の右から取付く。



スギの植林帯の中、擬木階段を緩やかに上って行く。



コンクリート橋を渡る。



倒木の下を通過する。



左に沢を見て、登って行く。



転石の左側を緩やかに上る。



朽ちたテーブルに到着。



テーブルの奥に炭焼き窯跡が残る。



傍に山頂まで1.1kmとかるうじて読める案内柱が立つ。



斜面の平坦路を行く。



潤れた沢を渡り、残置ロープを頼りに急斜面を登る。



弱く下って小沢を渡り、登り返す。



直角案内板からヒノキの植林帯に入る。



ヒノキの植林帯を緩やかに上って行く。



水場があるが、水は潤れていた。



大坂登山口分岐の尾根筋に登り上がった。尾根筋に沿って左へ向かう。



傍に立つ案内板。



ササの斜面を漕いで行く。



笹の斜面を抜けると、前方にアンテナ、左に祠が現れる。



飯嶽大神の祠。



アンテナ脇の道路を進む。



道路の分岐は、上に行く。



左脇の案内板。



フェンスの右に沿って抜ける。



夏草に覆われた大坂山(573m)の山頂部。



山名標柱。



二等三角点が設置されている。



北方向に平尾台から荻田町にかけての展望が得られる。



薬師の頭への降口はヤブ漕ぎから始まる。



ヒノキの植林帯を緩やかに下って行く。



作業路が出合う薬師の頭分岐は直進する。



傍の案内板。



裸地を登り詰める。



薬師の頭(546m)の山頂から大坂山を望む。



南から西にかけての展望。



北西から北にかけての展望。



北から北東にかけての展望。



基山(404m)を望遠で撮る。



福智山(901m)の山頂部を望遠で撮る。



日本セメント香春工場を望遠で撮る。



薬師の頭分岐まで引き返し、左折して作業路を下って行く。



道なりに緩やかに下って行く。



愛宕山分岐から右折して斜面に取付く。



愛宕山への案内板。



大坂山への案内板。



ヒノキ植林地の弱い踏み跡を辿って緩やかに上って行く。



最後の出口付近が分かりづらい。



再度、大坂山(573m)の山頂を踏む。



フェンスの脇を抜ける。



境界降口はヒノキ林から取付く。



植林の境界に沿って進む。



南に派生する尾根筋の尾根心に沿って下って行く。



尾根心沿いの測量杭を辿って下る。尾根心は犀川町と香春町の町境界となっている。



古い赤テープも残ってる。



斜面の傾斜が増してくる。



急斜面の下りが始まる。



急斜面が終わり、緩斜面となる。



尾根筋を右方向へ進む。



尾根筋のササ藪を漕いで行く。



尾根筋から左斜面に下って行く。



植林帯に行く。



黄色の測量杭を見る。



県道204号の境界出口が見えた。



県道204号を犀川町方面へ道なりに下って行く。



道なりに緩やかに下って行く。



大坂登山口に帰着いた。



フユイチゴ 実



カワラタケ



ツチアケビ 実



ヤブレガサ



キンミズヒキ



カエデコロ



ヤマハッカ



ガンクビソウ



ダイコンソウ



イストウバナ



ヒメジオン



マツヨイグサ



クズ



キンミズヒキ



コウゾリナ



サイヨウシヤジン



ゲンノショウコ



コナスビ



ヤマジノホトギス



ヤナギタデ



カラスウリ



ニシキギ



オトコエシ



センニンソウ